（その 110）家族の支えで乗り越えよう（2014.11）

９月下旬川崎区に住むWさんから「娘の旦那がお金を使いこんでどうしたらいいか」と電話が来ました。所長がお話を聞きますと、このままでは訴えられて会社を辞めさせられるので「私の貯金を下ろして穴埋めし解決しょうと思う」ということでした。

所長は、全体が明らかにならないのに、穴埋めしても焼け石に水となる恐れがあるから焦らないで、家族みんなが納得する方法で解決しないと再度過ちを繰り返すことになります。弁護士に相談しましようと９月 25 日川崎合同法律の弁護士さんとの相談に同行しました。

弁護士が順序立てて話を聞きますと、投資ファンドにつぎ込んだ金額が倍以上に増え、ほかにアパートやマンションのローンの金額もどんどん増えてとても穴埋めできる金額ではありませんでした。

弁護士の助言で困難を乗り越える確信が

相談者３人が疑心暗鬼になり「勝手にしたら」という雰囲気になりかけたとき弁護士は「これから横領や破産などの対策を次々に打たなければならないし時間のかかる問題ですが心配しないで」「事を起こした責任は本人にあることは間違いありませんが、一番苦しんでいるのは本人なのだからこうゆう時こそみんなで腹を割って話し合い支えてゆかなければ解決できませんよ」

この一言が不安で胸がつぶれそうになっていた３人が我に返って「ホッ」とした笑顔に困難を乗りきれそうな確信がわいた一瞬でした。

Ｔさん頑張れ！。